

GS1 element stringシンタックスと GS1 Digital Link URIシンタックス

GS1標準のバーコードでGTIN+属性情報（ロット番号や製造日）を表す場合、従来から用いられている**GS1 element stringシンタックス**と、新しいシンタックスでWebとの互換性がある**GS1 Digital Link URIシンタックス**の二種類が存在します。
この資料ではこの2種類のシンタックスの共通事項と違いについて整理しています。

両シンタックスのデータ列

ここでは右記のデータをバーコードに表現する場合を例に説明します

(01)GTIN : 04512345678906 (11)製造日 : 240916 (15)賞味期限 : 241122
(10)ロット番号 : 12abc (21)シリアル番号 : 916122

GS1 Element Stringシンタックス

0104512345678906 11 240916 15241122 1012abc FNC1 21916122

↑ GS1標準に従うバーコードシンボルであることを示す情報*

↑ 可変長データの終了を示す区切りのFNC1
(バーコードの種類によって記述方法は異なります。)

GS1 Digital Link URI シンタックス

<https://id.gs1.org/01/04512345678906/10/12abc/21/916122?11=240916&15=241122>

↑ リゾルバ

両シンタックスの互換性

GS1 element stringシンタックスとGS1 Digital Link URIシンタックスは、どちらもGS1アプリケーション識別子を用いて表現します。そのため、どちらのシンタックスにおいても、GS1アプリケーション識別子を基にデータ項目を切り出すことが可能です。

例：GTINと賞味期限のみを切り出し

GS1
EL

0104512345678906 11 240916 15241122 1012abc FNC1 21916122

↓
GTIN : 04512345678906
賞味期限 : 2024年11月22日
↑

GS1
DL

<https://id.gs1.org/01/04512345678906/10/12abc/21/916122?11=240916&15=241122>

どちらのシンタックスも読み取るような環境が想定される場合
(例えばPOSレジでの二次元シンボルの活用等)

どちらのシンタックスにも対応したシステム構築をする必要があります。

両シンタックスのデータ順序とエンコードルール

GS1 element stringシンタックスには**推奨**のデータ順序が、GS1 Digital Link URIシンタックスには、**既定**のデータ順序があります。ここでは、下記のデータをバーコードに表現する場合を例に説明します。

(01)GTIN : 04512345678906

(11)製造日 : 240916

(15)賞味期限 : 241122

(10)ロット番号 : 12abc

(21)シリアル番号 : 916122

GS1 element stringシンタックス

【注意】GS1 element stringシンタックスのデータ順序は**推奨**であり、この順番で表示されないこともあります。そのため、受け側はデータ列順序に依存せずに読み取れるシステム構築をする必要があります。

| No. | ルール | 対象のAI |
|-----|---|---------------------------------------|
| ① | GS1識別コード（GTINなど）を先頭に配置。 | (01)GTIN : 04512345678906 |
| ② | その他の情報（属性情報）の内、既定固定長AI*を先に配置。** | (11)製造日 : 240916 (15)賞味期限 : 241122 |
| ③ | 既定固定長AIの後に、既定固定長 ではない AI*を配置。複数の既定固定長ではないAIが存在する場合は、その間にFNC1を置き、データの最後を示す。** | (10)ロット番号 : 12abc (21)シリアル番号 : 916122 |

*既定固定長AIの詳細については、GS1標準バーコードベーシックガイド Ver1.1.0 の2.8.3を参照のこと。

**該当するデータが複数ある場合は、その順序は問わない



0104512345678906 **11** 240916 **15**241122 **10**12abc **FNC1** **21**916122

①GS1識別コード

②既定固定長AI

③既定固定長ではないAI

GS1 Digital Link URI シンタックス

【注意】GS1 Digital Link URI シンタックスのデータ列順序は**既定**のルールです。必ずこの順序で表現する必要があります。

| No. | ルール | 対象のAI |
|-----|---|---|
| ① | リゾルバの所在を示すURLを配置 | |
| ① | GS1識別コード（GTINなど）を配置 | (01)GTIN : 04512345678906 |
| ② | そのモノを識別するデータを粒度の荒い順に配置（該当するデータのAI番号とデータは「/」で区切る） | (10)ロット番号 : 12abc + (21)シリアル番号 : 916122 |
| ③ | その他のデータを配置*（その他のデータの先頭には ? を配置し、AI番号の後ろには = でデータを繋げる。複数のデータ項目がある場合はさらに & で連結。） | (11)製造日 : 240916 (15)賞味期限 : 241122 |



<https://id.gs1.org/01/04512345678906/10/12abc/21/916122?11=240916&15=241122>

①リゾルバ

①GS1識別コード

②モノを識別するデータ

③その他のデータ

*該当するデータが複数ある場合は、その順序は問わない

両シンタックスの仕様について

GS1 element stringシンタックスについて

[GS1総合仕様書（英文）](#)



GS1 Digital Link URIシンタックスについて

[GS1 Digital Link Standard : URI Syntax](#)



お問い合わせ先 : GS1 Japan ソリューション第1部・第2部

aidc@gs1jp.org